

課題1

どういったことをしていくべき？

生涯学習施設が気軽に
利用できない！

【個人の役割】

- 気になるものがあれば見に行く。

【地域・行政の役割(講座・イベントに関すること)】

- 管轄の地域以外の人でもイベントが実施できるようにしてほしい。できるという情報発信が必要。
- 各年代にあわせたイベントがあるとよい。
- もっと大勢の人が参加できるように学ぶ様々なきっかけづくりとその周知が必要。
- どこにどんな施設があるか、利用状況が見える化されると利用しやすいのでは？

【地域・行政の役割(情報発信・予約システム等に関すること)】

- 公民館が利用できることが周知されていない。SNS とアナログを併用してもっと情報発信を。
- ポータルサイトをつくれるとよい。インスタグラム、市ホームページ(もっと魅力 up を!)、ライン等を活用し、講座の情報をインターネットに挙げていく。
- 小江の公民館のグループラインでは公民館の利用状況が分かる。他の公民館でも活用したらどうか？
- ラインで連絡が入り、そのまま講座に申込できれば気軽に参加できると思う。
- まず知らないといけない。スマホ上で情報がわかるような仕組みが必要。ラインの予約システムの導入など。

【地域・行政の役割(その他)】

- 教えてもらう人と教えてあげる人のコーディネーターがいるといい
- 市内の施設で有効に活用されていないところは、有効に活用できるようにしてほしい。
- 市民会館の利用料金が低い。利用に関する規制を緩和してほしい。補助金があると教室などが開催できる。
- やりたいことがあったら誰かに気軽に相談できるといい。
- ニーズ(内容・時間・方法)が把握できれば、それに合わせてマッチングできる。お試し講座を開催しては？
- 無料 Wi-Fi を設置すると若い人は集まりやすい。公共施設にスクリーンやプロジェクターを設置してほしい。

1. 個人・地域・行政の役割



課題2

どういったことをしていくべき？

幅広い年代が参加できる
機会がほしい！

【個人の役割】

- まず知らないといけない。
- 今はわざわざ習わずに動画で見て完結したりしているが、コミュニティ、仲間づくりをしていく必要がある。

【地域の役割】

- 地域の文化祭などで、子どもが伝統文化にふれる機会を増やす。高齢者から子どもに教える機会を増やす。
- 学生生活や社会生活で学べないことを地域で伝えていければいいと思う。
- 学校や地域からつながっていけるように学校との連携必要。地域住民が先生となる活動を。

【行政の役割】

- 学校卒業後のコミュニティとして小学生から高齢者までつなげる拠点づくり。
- 市民の意見を吸い上げる場を設ける。投稿箱、web版をつくる。
- 公民館がからむお知らせが小学校にしか発信されない。中高へも発信して中高校生を巻き込む。中高校生のニーズを聞いて、公民館で講座を開催する。
- コミュニティスクール事業の一環として、学校帰りに公民館に寄れるような環境を作っては？
- 参加者が気軽に参加しやすいように、やっている人が投稿できるなにかがあるといい。
- すべての年代が興味あることを探すのは難しい。年代ごとに講座をしても、誰もが授業参観のような感じ参加できるようにしては？
- 子どもが集まれる場所になればいい。若い人は学校でお知らせがあると、興味がでて参加するかも。同じ世代がいると入りやすい。
- 仕事している人はなかなか参加できない。まずは高齢者と子供をつなげていくことが必要。
- 働き盛り世代は場所と時間が制限されている。オンラインでつながれるといい。

1. 個人・地域・行政の役割



課題3

どういったことをしていくべき？

学んだことを地域に
活かさないか？

【個人の役割】

- 生涯学習を提供する側(教える側)に回る。
- 演奏活動をする場を設けることで、やってみる人が増える。
- 仕事でやっていることを生かして公民館などでも教室を開催したい。
- 今は近所付き合いが少なく、声をかけたくても余計なことかもしれないという気持ちがある。そこが課題。

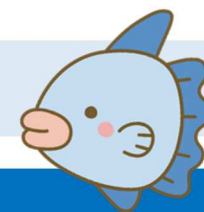
【地域の役割】

- GCSL(蒲郡文化スポーツリーダー)の周知が足りない。活用方法を再検討するなど、しかけをしていったほうがいい。
- 年代が変われば、それぞれの困りごとや課題も変わってくる。ニーズや課題の洗い出しが必要。また、地域でやれることを一緒に考える場があればよい。
- 仲間を作ると楽しいので場に集まることができる。地域のコミュニティづくりが必要。

【行政の役割】

- ちょっと得意なことを教える場をつくり、参加者を募集する。
- 登録制度をつくる。提供できる場・時間をつくる。
- どういう拠点をつくるか。コーディネートを行政がやるべきでは？
- 学習成果を披露する場、体験する場として、生涯学習まつりのようなものを作ってはどうか？他の地区で活動している内容を体験できる機会を提供することで、やりたいことが見つかるかも？
- 有料の講座の方がしっかりしたプログラムとしてできると思う。
- 防災の知識など、生活に役立つ知識を学ぶ機会を提供すると、地域に生かされると思う。
- 公民館で活動している人は発表の機会があるが、公民館に属していない人は発表の場が少ない。
- 公民館が身近に感じられない。身近に感じられるような公民館づくりをしてほしい。

2. 参加したい生涯学習活動



どんな生涯学習活動に参加したい？

【こんな内容の学習がしたい】

- 大人向けに習字の講座をやりたい。
- 吹奏楽を続けたい。健康に関する講座や体を使うヨガ、手芸の教室。
- いろいろな世代をつなげるには音楽が有効。音楽のイベントで集まれるような機会があればよい。
- 蒲郡市の歴史とか蒲郡市出身の著名人とかについて学ぶ機会があれば、まちに興味をもつきっかけになると思う。
- 蒲郡南部小学校では高齢者と一緒に畑仕事をする体験を行っている。こういった活動が全地域に広まればいい。
- 学校の図書室を開放して、PTAのお母さんが読み聞かせ等の活動を担っていた。こういった活動が活発になればよい。
- 1月4日に西部小学校で行われている百人一首の大会をまちの名物イベントにしてはどうか？
- 市の産業・特産品を周知するために、竹島水族館の深海魚まつりや公民館の料理教室を活用して、魚の生態や特徴、レシピなどを紹介してはどうか？
- 次世代のために子どもが体験・学び続けられる場所がほしい。新しい技術などを教えてくれる場所があるとよい。
- 学習障害のある子どもたちへの学習支援の場がないので、そういった活動を充実してほしい。
- 学校で教えてくれないこと(子育てについて、性教育など、草刈り機の使い方)を教えてほしい。特技・経験を生かした講座など、気軽に参加できる講座が欲しい(仕事を生かしたお金(投資)講座、大工さんがやる工作教室)。

【こんなふうに学習がしたい】

- いろんな人たちとつながりたい。
- コミュニケーションの手助けができる講座があるとよい。
- 子どもたちの居場所づくりをしたい。学校でできるといい。
- 小学校での体験学習などについて、すべての会に参加しなくても行きたいときに気軽に参加できればと思う。卒業した後も参加したい。
- いやいや参加するものは活気がなくなると思うので、やりたい気持ちが大事。
- 生涯学習の場をよそから転入してきた人のコミュニティの受け皿に。
- 赤ちゃんサロンとか児童館とかいろいろあるけど、連携がうまくできていない。遠い場に行くのは大変なので、身近な場でできればいい。